

特集 P2-5

いのちの話



いのちの重みはみんな同じ

主な内容

- P6-7 地震への備え ～あなたにもできる減災～
- P8 こども発達支援センターを開館します
- P9 固定資産税 閲覧・縦覧できます
福祉医療制度 認定資格の切り替え

表紙写真：いのちを育む講座
坂東小学校の5年生とその保護者を対象に「いのちを育む講座」が開かれました。実際の赤ちゃんと同じ大きさ・重さの人形を抱いて、いのちの重みを実感する子どもたち。いのちの大切さ、生きていることの素晴らしさを、さまざまな体験を通して、みんなで学びました。

～食生活改善推進員のおすすめ～
健康レシピ 032

- 3月は食物繊維たっぷりメニュー **Pick up** 1人分 245kcal
- 1 肉豆腐のコチジャン風味
 - 2 小松菜とマイタケの柚香おろし和え
 - 3 ひじきのサラダ
 - 4 イチゴ
 - 5 麦ご飯
- ※2～5の材料と作り方は、市ホームページをご覧ください



用意する材料 (4人分)

焼き豆腐	200g	チキンスープの素	小さじ1/2
豚も肉 (薄切り)	240g	水	300cc
ジャガイモ	250g	しょうゆ	大さじ2
タマネギ	250g	酒	大さじ1弱
エノキダケ	正味100g	砂糖	大さじ1弱
水菜	40g	コチジャン	大さじ1弱

作り方

- 1 焼き豆腐は8等分に切る。
- 2 ジャガイモは皮をむいて食べやすい大きさに切る。タマネギは皮をむいて縦半分に切り、1cm幅に切る。
- 3 豚肉と水菜は食べやすい大きさに切る。
- 4 鍋に分量の水を入れて火にかけ、沸騰したらチキンスープの素とAの調味料、ジャガイモ、タマネギを加えて、煮立ったら豚肉を入れる。 **Point** 1
- 5 ジャガイモに火が通ったら焼き豆腐とエノキダケを加えて、豆腐に火が通るまで弱火で3～4分煮る。仕上げに水菜を加え、器に盛る。

Point

材料ごとに分けて煮ると、バランスよく盛り付けができます



編集後記

昨年おいが誕生し、初めて赤ちゃんを抱っこしました。その小ささに戸惑い、恐る恐る抱いたのですが、力強く泣く姿に圧倒されてしまいました。おなかを目いっぱいへこませて、全身で泣いている赤ちゃんの生きる力に、とても感動したのを覚えています。

誕生日は、自分が生まれていのちの記念日。大人になってからは、なんとなく過ぎてしまっていた気がします。次の誕生日は、産んで育ててくれた両親に感謝して、大切な自分のいのちについて考える日にしたいと思います。(な)

ぶらり 伊勢崎散歩

石山観音の大鰐口(下触町)

おおわにぐち

石山観音は馬の信仰で知られ、かつては隣の村から人々が馬を連れて参拝に訪れていました。人々はこの鰐口を鳴らし、その下に馬を通して馬の無病息災を祈りました。鰐口は天明7年(1787年)に奉納されたもので、直径が192.5センチメートルあり、日本最大級のものと考えられています。

いのちの話



いのちの誕生を再現する樹里さん(右)とお母さんの妃呂子さん(左)



折り紙の小さな穴をのぞき込む子どもたち



人形を抱いて胎児の成長を感じる



生まれてくる赤ちゃんを待つ喜びを話す栗本先生

私たちに、いのちがあります。一人一人が持ついのちは、世界にたった一つの、かけがえのないものです。いのちは「生きる」ことそのもの。生きることは、楽しいことやうれしいことだけではありません。時にはつらいこと、悲しいこと、笑顔だけでは乗り切れないこともあります。私たちの近くにも、生きることがつらい、悲しいと、孤独に悩む人がいるかもしれません。

自分をいたわることを忘れてしまってはいませんか。家族や友人、地域の絆を忘れてしまってはいませんか。私たちが持っている大切ないのちについて、考えてみましょう。



講師を務めた助産師の真下由利子さん

へ出て「おんぎゃー、おんぎゃー」と産声を上げました。

へその緒が切れられ、お母さんの妃呂子さんに抱きかかえられる樹里さん。「中は暗くて狭くて大変でした。苦しかったけど、みんなが応援してくれて、頑張ろうと思いました」と樹里さんが感想を言うと、妃呂子さんが、樹里さんが生まれたときの気持ちを話してくれました。「樹里は初めての子どもで、出産が予定日より遅れたので心配でしたが、元気いっぱい生まれてきてくれました。生まれてきてくれてありがとう」

そのときのことを思い出したかのように、樹里さんをぎゅっと抱きしめてあげる妃呂子さん。会場から大きな拍手が送られました。

みんなの3つの共通点

真下さんは、次の3つのことが、みんなに共通しているのだと説明しました。



子どもたちへ言葉のプレゼント 生きているだけで100点満点

「いのちを育む講座」で助産師の真下さんが、子どもたちへ贈った言葉——「生きていることに100点満点をあげたい。100点満点のいのちをこれからもずっと持ち続けて生きてほしい」

- あなたはみんなに喜びと幸せを分け与えている
 - あなたは生きる力を持って生まれてきている
 - あなたは、世界でたった一人の大切な宝物
- 「いのちは一人にたった一つ。なくすと二度と戻ってくることはありません。今のお友達と一緒に過ごすことは絶対にできません。だから大切ないのちを手放したり、心を傷つけたりすることは、絶対にしてほしくありません。そして、周りの人も自分と同じように、大切ないのちをた一つ持っているのです」
- 誕生日は「いのちの記念日」**
- 「誕生日はお父さん、お母さんに、産んで育ててくれてありがとうって感謝する日でもいいのかなって思います。そして、自分のいのちについて考える日にしてほしいと思います」と、子どもたちに提案する真下さん。最後に次のように話し、講座を結びました。「赤ちゃんが生まれるときに家族に応援されて頑張ったのはお母さん。でも一番頑張ったのは、赤ちゃんです。みんなが一番頑張って生まれてきたんです。一番頑張って生

2月14日、坂東小学校で、5年生の児童93人とその親約80人が参加して、群馬県助産師会による「いのちを育む講座」が開催されました。助産師の真下由利子さんが講師となり、いのちの大切さを子どもたちに訴えました。

いのちの成長を実感

子どもたちに配られた、一枚の折り紙。針の先ほどの小さな穴が開いています。穴をのぞき込む子どもたちに、真下さんが話しました。「この穴は、みんなの体の一番初め、受精卵と同じ大きさです。赤ちゃんはお母さんのおなかの中で、10カ月間に約2000倍もの大きさになるんです」

真下さんが用意したのは、妊娠3カ月、5カ月、8カ月、10カ月の胎児の人形。子どもたちは、実際と同じ大きさ、重さの人形を抱いてみて、赤ちゃんの成長を実感します。

ここで、5月に出産予定の栗本葉子先生(同小教諭)の協力でおなかの中にある赤ちゃんの心臓の音を、機械を使って子どもたちに聞かせました。会場に赤ちゃんの元気な心臓の音が響き渡ります。真下さんは、赤ちゃんの心臓が、子どもたちが全速力で走った

ときと同じくらい速さで動いていることを説明しました。「赤ちゃんはお母さんのおなかの中で、気持ちよく守られているだけではありません。みんなに例えたら、約10カ月間、24時間走り通したくらい頑張って生まれてきます。みんなも、そんなすごいことをして大きくなって生まれてきたんです」

栗本先生は、「赤ちゃんがおなかの中に入っているって知ってからは本当にうれしい気持ちでいっぱいなんです。生まれてくるのを、毎日とても楽しみにしています」と心境を話しました。真下さんは「みんなの家族も、みんなが生まれてくるのを、とつても楽しみに待っていてくれたんですよ」と付け加えました。

「生まれてきてくれてありがとう」

次に出てきたのは大きな袋。これを子宮に見立てて、お母さんのおなかの中の赤ちゃんの様子を再現します。子どもたちを代表して半田樹里さんが袋の中に入りました。「がんばれ、がんばれ」と友達から大きな声援を受けて、子宮の袋から顔を出す赤ちゃん役の樹里さん。やっこの思いで外

群馬県助産師会では平成10年からのいのちの出前講座を始め、これまで「こころを育む総合フォーラム全国運動」全国大賞や、保健文化賞をいただきました。県内の小学校で年間約120校、中学校や高校でも実施しています。伊勢崎市の小学校では、学校側だけでなくPTAの皆さんもこの講座に熱心に取り組んでくれています。

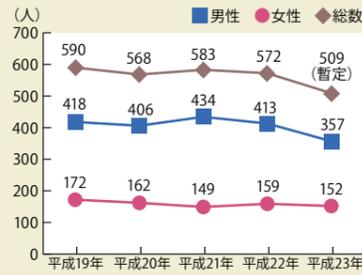
本当は生きたいのに死ぬしかなくなってしまう、そんな人を救えるのは家族しかいません。この講座が親子のコミュニケーションづくり、絆づくりのきっかけになればと思います。

講座に関する問い合わせ 群馬県助産師会(太田市、☎0276-37-5198)



社団法人 群馬県助産師会 会長 鈴木せい子さん

群馬県の自殺者数の推移



年間の自殺者数は、平成10年から500人以上が続いている。男女別では全国的な傾向と同様に男性が多く、年代別では50歳代、60歳代が多い。(群馬県警察本部による統計)

自殺予防の第一歩 自分自身を大切にしよう

1年間の交通事故による死亡者よりも、自殺者のほうが多い状況が続いています。最近、自分自身をねぎらいましたか。3月は自殺対策強化月間です。

全国の自殺者は平成10年以来、年間3万人を超えています。平成23年は3万584人(暫定)で、同年の交通事故で亡くなった人の数(4611人)の、約6・6倍にもなります。統計上、自殺の原因・動機には、うつ病や身体の病気などの健康問題や、失業や借金などの経済問題、仕事の問題などが多いといわれています。県こころの健康センター(前橋市)で所長を務める浅見隆康さんに、県内の自殺者の状況や自殺予防について話を聞きました。

背景にある問題を解決することが自殺予防につながる

群馬県内では、平成23年中の自殺者数は509人(暫定)でした。計算上は3日間に4人が自殺で亡くなっています。自殺予防は、その背景にある



県こころの健康センター 所長 浅見 隆康さん

人が自殺で亡くなる背景には、うつ病になった原因は、一言で言えば「頑張り過ぎ」です。ね。もともと人に感情面での相談を言うのが苦手、仕事の愚痴を言うこともほとんどありませんでした。病気になる後も「こんなことで人生終わりたくない」と思って奮張るほどうまくいかなかった。仕事に夢中だったころを振り返ると、私は孤独でした。そのことにも気付いていませんでした。うつ病になって治療に取り組む中で自分の内面を知り、周りの人とのつながりを取り戻すことができました。温かく見守ってくれた家族にも感謝しています。

命を大切にすることを

誰かをねぎらう、褒める、といったことができて、自分自身をねぎらうことはなかなかできない人が多い。命を大切にすることは、自分が自分を大切にすること。それができれば、自然と周りの人も大切にできます。コミュニケーションを上手にとれるようになれば、結果として自殺予防対策にもつながり、自殺者を減らすことができるのではないのでしょうか。

人とのつながりが命を救う 心を孤独にさせないで

命の大切さを見失い、自ら命を絶ってしまう—そんな悲しい出来事が起きています。自殺者の9割は精神的な疾患を抱えていた可能性がある、といわれています。

うつ病は自分へのメッセージ 孤独に頑張る生き方はやめて

20代後半のとき、東京都内の経営コンサルタント会社に勤めていました。もともと上昇志向が強く、自分で会社を始めたという希望もあって夢中で頑張ったのですが、きつい残業など無理がたたってうつ病になってしまいました。再就職もうまくいかず、どうにもならなくなっていたころ、「当事者研究」という療養法を紹介されました。そこで同じように心の病気を持つ人に自分の体験などを話し、共感してもらおうと、つらいのは自分だけじゃないことが分かって心が楽になりました。当事者研究で自分を研究して分かってきたのは、自分の頑張りや自己否定の頑張りだったということ。「自分はそのままじゃだめだ」という気持ちが強過ぎたのです。



柳 春海さん
うつ病に悩んだ経験を持つ。現在は、精神保健福祉士・産業カウンセラーとして華蔵寺クリニック(安堀町)に勤務している。

うつ病になった原因は、一言で言えば「頑張り過ぎ」です。ね。もともと人に感情面での相談を言うのが苦手、仕事の愚痴を言うこともほとんどありませんでした。病気になる後も「こんなことで人生終わりたくない」と思って奮張るほどうまくいかなかった。仕事に夢中だったころを振り返ると、私は孤独でした。そのことにも気付いていませんでした。うつ病になって治療に取り組む中で自分の内面を知り、周りの人とのつながりを取り戻すことができました。温かく見守ってくれた家族にも感謝しています。

うつ病は「無理な生き方をしているんだよ」という自分へのメッセージ。孤独に一人で頑張る生き方はやめたほうがいいと、教えてくれているのだと思います。

悩んでいませんか?

- やる気が出ない
- いらいらする
- なんとなく不安になる
- 家族が心の病気かもしれない
- 夜よく眠れない



市ではこころの健康相談を実施しています。専門の医師が、あなたのお話を伺います。ぜひ、ご相談ください。

忙しい毎日の中で、自分自身をいたわっていますか？ ストレスをため込まず、心と体の健康を守りましょう。

自分を大切にしていますか？

短所だと思っていたところも、見方や考え方を変えてみると長所になることがあります。自分自身を見つめ直してみましょう。

笑顔で過ごせていますか？

笑顔になることでリラックス効果も生まれ、穏やかに過ごすことができるでしょう。

コミュニケーションを大切にしていますか？

家族や友人との会話を大切にしましょう。悩み事があったら、頼りになる人に相談してみましょう。きっと心が軽くなります。

問い合わせ 健康づくり課(☎27-2746)
健康管理センター(☎23-6675) 赤堀保健福祉センター(☎20-2210)
あすま保健センター(☎62-9918) 境保健センター(☎74-1363)

命を支える地域の活動

地域の住民33人で活動している障害者福祉ボランティア「そよ風」は、主に境地区で「おんたけ山サロン」などを開き、さまざまな交流を通じて、精神障がい者が地域で孤立しないようなネットワークづくりに取り組んでいます。顧問を務める山本新四郎さんに話を聞きました。

心に不安を抱える人を地域で孤立させないために

私たちボランティアは、医師や作業所の指導員などの専門家ではありません。同じ地域の住人同士として、精神障がい者の人たちと対等に付き合うことができるのが、私たちのいいところです。精神疾患を抱え、自殺まで考えてしまう、その大きな要因は、話す相手がなく孤立してしまう



障害者福祉ボランティア「そよ風」顧問 山本 新四郎さん

動を続けていくのです。私たちの活動が、尊い命を守る活動の一つになればと願っています。

ことです。地域の中に、心に不安を抱える人たちの居場所があって、そこで話ができるようにすることが私たちの役割の一つです。精神障がい者とその家族は、周囲から正しく理解されないことが多いです。偏見と差別に苦しんでいます。私たちは本当の彼らを、多くの人に理解してもらいたいです。彼らを持つ優しさや純粋さは、私たちに心の温かさを伝えてくれます。交流を通じて、生きがいや幸せをもたらしているのだと思います。だから楽しく活動



1月20日、精神障がい者の皆さんとの新年会で、「そよ風」のボランティアの皆さんが楽しそうに準備をしていました。

地震が発生したときは

震源に近い観測点で地震を察知すると、直ちに震源や地震の規模、想定される揺れの強さなどが推定され、緊急地震速報が発表されます。本市では、全国瞬時警報システムを利用し、防災行政無線屋外スピーカーから放送します。テレビ・ラジオ・携帯電話のメールなどを通じても受けられます。



揺れが始まる前のわずかな時間に、少しでも早く防災行動を取ることが、地震被害の軽減につながります。

緊急地震速報が発表された場合や地震の揺れを感じた場合の行動

【家庭】

- 頭を隠し、丈夫な机の下などに隠れる
- 慌てて外に飛び出さない
- その場で火が消せる場合は火の始末を、火元から離れている場合は、無理をして火を消そうとしないで、地震の揺れが収まってから火を消す



【屋外】

- ブロック塀など、倒れそうなものから離れる
- 看板や窓ガラスから離れる



【人が大勢いる施設】

- 施設の係員の指示に従う
- かばんなどで頭を保護し、揺れに備える
- 慌てて出口や階段などに走り出さない



【自動車の運転中】

- 慌ててスピードを落とさない
- 揺れを感じたら道路状況を確認して安全な場所に停止する



非常持ち出し品の準備をしましょう

本市では防災倉庫に食料、飲料水や生活必需品を備蓄しています。しかし、備蓄品には限りがありますので、自分で十分な準備をしておくことが安心です。

非常持ち出し品の持ち運びには、両手が使えるリュックサックが便利です。重過ぎないかどうか、一度背負ってみましょう。

非常持ち出し袋(リュックサックなど)に入れておく物

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 3日分の食料と飲料水 | <input type="checkbox"/> 下着類・衣類 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> タオル |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 救急セット |
| <input type="checkbox"/> 予備の電池 | |

貴重品

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金・保険証・印鑑など | <input type="checkbox"/> 家や車の予備の鍵 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|

あると便利な物

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ろうそく | <input type="checkbox"/> ガムテープ |
| <input type="checkbox"/> マッチ・ライター | <input type="checkbox"/> 油性マジック |
| <input type="checkbox"/> 缶切り・万能はさみ | <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー |
| <input type="checkbox"/> 軍手・手袋 | <input type="checkbox"/> レジャーシート |
| <input type="checkbox"/> ロープ | <input type="checkbox"/> 割りばし |
| <input type="checkbox"/> ポリ袋 | <input type="checkbox"/> 雨具 |
| <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋 | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> トイレットペーパー | <input type="checkbox"/> キャンピング用品 |
| <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ | |

家族構成によって必要な物

- | | |
|---|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳瓶 | <input type="checkbox"/> 紙おむつ |
| <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> ペットフード |
| <input type="checkbox"/> 高齢者や身体障害者のための準備品(常備薬や介護用品) | |

● **自宅の耐震性**
自宅の耐震性を確認しましょう。
※住宅の耐震診断や耐震改修については、建築指導課(☎27-2762)へ問い合わせください

● **自宅の安全対策**
めておきましょう。
家具の固定や配置の見直しを行い、家族を地震から守りましょう。
寝室や子ども部屋など、家族が長い時間を過ごす部屋には、できるだけ家具を置かないようにしたり、背の低い家具を置くようにしたりするなどの工夫をしましょう。

● **あなたの助けを必要としている人がいます**
災害時には高齢者やけがをしている人など、自分では災害に対応できない人もいます。地域住民同士が協力して救出救助ができるように、地域で開催される自主防災組織訓練などに積極的に参加しましょう。

● **共助**
いざというとき頼りになるのは地域の力
いづいどんなときに助ける側助けられる側になるか分かりません。普段から地域の交流を大切にしましょう。



東日本大震災で避難する人たち(写真提供:宮城県東松島市)

地震への備え

あなたにもできる減災

昨年3月11日の東日本大震災から1年がたとうとしています。本市でも市有施設をはじめ住宅の屋根瓦の破損など多くの被害が発生しました。
地震はいつどこで起きるかわかりません。東北地方太平洋沖地震によって、日本全国各地で地震活動が活発になっており、今後も大地震が起こりやすい状況にあるとの予測もされています。
いざというときのために、あなた自身、家族、地域の皆さんでしっかり備えましょう。

問い合わせ 安心安全課(☎27-2706)

地震減災の心得

大規模な地震で大きな被害が発生したとき、多くの人は国や県、市などの行政機関による迅速、的確な救助や支援が行われると期待すると思いません。
行政機関も不測の事態に備え、できる限りの防災体制を整えています。しかし、昨年の大震災のように行政機関自体が大きな被害を受けることも考えられます。また、交通網や通信手段のまひにより救助や支援などの対応が遅れてしまうことも予想されます。

また、自分の力では災害に対応できない高齢者や障害者にとっては、地域や身近にいる人同士が一緒に取り組む「共助」も重要です。
「自助」「共助」が災害による被害を少なくする減災の大きな力となります。

自助

● **自分の命は自分で守る**
身近な危険箇所を自分たちでチェックし、早めに改善するようにしましょう。

● 家庭で備える

避難が必要になったときに備えて、家庭では7ページ上記のような非常持ち出し品を用意しておきましょう。
また、自分の地区の避難場所がどこなのか確認しておき、災害時の連絡方法を家族で決

成長や発達に心配な子どもとその保護者をサポート こども発達支援センターを4月に開館します

地域ふくし館ばんどうは、4月からこども発達支援センターとして開館します。

こども発達支援センターでは、子どもの成長や発達などについての専門の知識や経験を持つ職員が皆さんの子育てをお手伝いします。子どもの成長や発達について心配なことがあったら、迷わずに相談してください。

問い合わせ 障害福祉課 ☎(27)277506

こども発達支援センターとは

こども発達支援センターは、子どもやその保護者に対するサポートを目的とした施設です。発達に不安や心配のある子

どもについて相談を受け、必要なアドバイスなどを行います。障害のある子どもに対しては、年齢が小さいうちから日常生活の基本動作の指導や、集団生活への適応訓練を行い、充実した社会生活が送れるように働き掛けます。

この施設は、4月から社会福祉法人榎の木が指定管理者として管理・運営を行います。

施設の概要

所在地 除ヶ町410番地1
開所日 月曜日から金曜日まで
※祝日は除きます
開所時間 午前9時～午後5時
電話・ファクス番号 (32)7748



こども発達支援センターではこんなサービスを行います

●発達相談支援事業

障害や発達の遅れがある子どもや、子育てに不安がある保護者を対象に、専門の相談員がライフステージの変化に合わせて適切なアドバイスなどを行います。関係機関などの支援や福祉サービスの利用支援が必要なときは、紹介・連携・調整をします。電話、来所(予約が必要です)のどちらでも受け付けます。

●保育所等訪問支援事業

保育所などの施設に通う障害児に対し、施設に出向き、集団生活へ適応するための専門的な支援を行います。保育所などの施設からの相談も受け付けています。

●親子通園事業

親子で一定期間、こども発達支援センターに通園することにより、生活習慣・生活リズムを身に付けます。専門家による子育てのアドバイスも行います。

●日帰り短期事業

障害や発達に遅れがあり、必要性・緊急性のある子どもが利用できます。日常生活(食事、着替え、排せつなど)の支援と見守りを行います。



●児童発達支援事業

こども発達支援センターに通うおむね3歳から就学前の子どもとその家族を対象に、日常生活訓練と集団生活に適切できるように指導を行います。子どもに合った支援計画を作成し、療育訓練を行います。家庭や、子どもが通っている保育所などへの訪問も行います。



こども発達支援センター(改築中)



固定資産税 閲覧・縦覧できます

固定資産税は、土地・家屋・償却資産を所有している人に課税される税金です。平成24年度の固定資産課税台帳の閲覧と土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧ができます。

問い合わせ 資産税課 ☎(27)27719

固定資産課税台帳の閲覧

固定資産課税台帳に記載されている土地・家屋のうち、納税義務者本人が所有しているものについて、課税の内容を確認できます。

なお、5月上旬に発送予定の納税通知書にも課税台帳と同じ内容を記載します。

対象

納税義務者、納税義務者と同世帯の親族、納税管理人、納税義務者から委任を受けた人、借地・借家人

手数料

無料

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧

土地・家屋の評価額が記載された縦覧帳簿を確認できます。土地の納税者は土地、家屋の納税者は家屋について縦覧できます。ただし、償却資

福祉医療制度 認定資格の切り替え

福祉医療費受給資格の有効期間が3月31日までの人で、左表の資格要件に該当する場合には、新たに受給資格を得ることが出来ます。必要書類をそろえて申請してください。

4月1日以降に申請した場合、受給資格は申請日からの認定となりますので注意してください。

問い合わせ 年金医療課 ☎(27)2740

資格要件	申請に必要なもの
身体障害者手帳1級・2級	保険証・印鑑・身体障害者手帳
障害年金1級	保険証・印鑑・年金証書
特別児童扶養手当1級・2級	保険証・印鑑・特別児童扶養手当関係書類
療育手帳判定A	保険証・印鑑・療育手帳
18歳未満(*)の児童を扶養している母子・父子家庭など	保険証・印鑑・戸籍謄本(本籍地が市外の人)・所得税の課税状況が分かる書類(1月1日現在、本市に住所がない人)・結婚していない証明書類(外国籍の人)

*満18歳の誕生日以後の最初の3月31日まで(4月1日生まれは18歳の誕生日前日まで)の子どもを含む

伊勢崎市ふるさと寄附金 ご協力ありがとうございました

本市を応援して下さる皆さんから、平成23年7月から平成24年1月までの間に、左表のとおり各分野へふるさと寄附金をいただきました。ありがとうございました。

ふるさと寄附金にご協力いただいた皆さん (順不同)			
生き生き元気な健康づくりの分野			
増田明さん 10万円	高橋貢さん 30万円	柿沼進一さん 1万円	
生活の安心安全推進の分野			
新田純平さん 20万円	野崎利明さん 1万円	鈴木幸治さん 2万円	
田中賢さん 5万円			
爽やかスポーツ振興の分野			
早川清太郎さん 10万円	深沢悟さん 1万円	近藤裕保さん 1万円	
来て! 見て! 賑わい観光振興の分野			
渡辺元さん 10万円	中野光公さん 2万円	金山周平さん 2万円	
田中哲さん 2万円	千葉泰将さん 1万5,000円	新井淳さん 2万円	
自然環境保全・省エネ推進の分野			
匿名 1,500円			
頼んだぞ! 市長おまかせ分野			
石原信雄さん 3万円	穴戸幸雄さん 2万円	内田利彦さん 2万円	
清水卓さん 2万円	北爪勝義さん 1万円	岩沼靖郎さん 3万円	
松村真さん 1万円	原田富夫さん 1万円	伊藤幸人さん 2万円	
河村なぎささん 1万5,000円	匿名 5万円	匿名 3,000円	



ソフトボール教室 一流選手から直接指導を受けました



投球フォームを確認(山下選手)



守備の基本をしっかりと(金沢選手)



体の使い方を説明(宇野選手)



キャッチボールから丁寧に指導(関選手)

2月5日、境総合運動場で「ソフトボール教室」が開かれました。指導してくれたのはルネサスエレクトロニクス高崎女子ソフトボールチームの関友希央選手、山下絢選手、金沢杏奈選手、宇野有加里選手の4人。準備運動から始まり、投球、守備、打撃と、4人は参加者の皆さんに積極的に声を掛けながら、楽しく元気に指導しました。一流選手の丁寧な指導に、参加した中学生や一般のソフトボールチームの皆さんは、真剣な表情で聞き入っていました。

市民ボランティアフェスティバル ボランティア活動について情報交換



琵琶を使った古屋和子さんの語り



色を塗って楽しく鬼のお面作り

2月5日、「市民ボランティアフェスティバル」があすま公民館・あすまホールで開催されました。市内のボランティア団体やNPO法人など36団体が集まり、ステージ発表やブース展示などを通して、日頃の活動などを紹介しました。会場では興味深く話を聞く人や、お互いの活動を情報交換する人の姿が見られました。ストーリーテラーの古屋和子さんの講演も開かれ、訪れた人は古屋さんの語る数々の物語に引き込まれていました。



ステージ発表で踊りを披露

豊武神社節分祭 伝統の豆まきで一年の厄払い



景品を賭けて青鬼とじゃんけん



「福は内」年男が威勢良く豆まき

2月4日、豊武神社(大正寺町)で101回目となる「豊武神社節分祭」が行われました。本年が大厄の年男たちが神社に集まり、かみしも姿で豆をまきながら豊武地区(富塚町、除ヶ町、大正寺町、下道寺町)を練り歩きました。午後には神社で豆まきが行われ、年男の威勢のいい掛け声とともに豆が飛び交い、訪れた大勢の人たちと一年の無病息災を願いました。

景観まちづくり賞表彰式・景観まちづくり講演会 魅力ある屋外広告物として表彰されました

1月31日、境総合文化センターで行われた「景観まちづくり賞表彰式」。良好な景観づくりに貢献したとして、創作菓子ロッシェ(宮子町)、デザイナーズリビングLA VING(葦塚町)、天然温泉伊勢崎ゆまーる(太田町)の屋外広告物が表彰されました。



ロッシェ



LA VING



伊勢崎ゆまーる

表彰式の後に行われた講演会では、元・滋賀県近江八幡市長の川端五兵衛さんが「風景は皆んなのもの」と題して、美しい景観づくりについて話しました。



川端五兵衛さんが景観保存の取り組みを紹介

情報掲示板

- 伊勢崎市役所 ☎0270-24-5111
 - 赤堀支所 ☎0270-62-1151
 - あずま支所 ☎0270-62-1311
 - 境支所 ☎0270-74-1111
- 開庁時間 午前8時30分～午後5時15分

- 火災情報案内(24時間) ☎0180-99-2999
- 救急テレホンサービス(24時間) ☎0270-23-1299

休日の漏水などの連絡先



竜宮浄水場(☎24-1760)または下記の水道指定工事店へ連絡してください。

- 3月17日(土) 三和水工 ☎32-0575
- 3月18日(日) 須田設備工業 ☎62-2349
- 3月20日(祝) 松原電化設備 ☎62-1534
- 3月24日(土) 豊鉄水工業 ☎32-1526
- 3月25日(日) 丸橋設備 ☎25-2412
- 3月31日(土) 栗原建設 ☎25-6720

境島村の利根川右岸地域(本市市給水区域)は本市水道課(☎0495-22-2151)、境平塚の利根川右岸地域(深谷市給水区域)は深谷市水道工務課(☎048-574-6661)へ連絡してください。

市民ホール ランチタイムコンサート

市民の皆さんが気軽に音楽を楽しめる、ランチタイムコンサートを開催します。

※座席を80席用意します。立ち見もできます

- 期日 3月13日(火)
- 時間 午後0時15分～0時45分
- 会場 市役所東館1階市民ホール
- 内容 ミュージカル劇団による歌とダンス
- 入場料 無料
- 問い合わせ 企画調整課(☎27-2707)



クラシック音楽、ピアノ演奏、合唱などで憩いのひとときを提供してくれる出演者を募集します。
※演奏にはグランドピアノが利用できます

- 出演者募集**
- 開催予定日
 - 4月18日(水)
 - 5月16日(水)
 - 6月20日(水)
 - 時間 午後0時15分～0時45分
 - 申し込み・問い合わせ 3月15日(木)までに企画調整課(☎27-2707)



スポーツ

春季バレーボール大会

- スポーツ振興課(☎27-2747)
 - 期日 4月8日(日)
 - 時間 午前8時30分開会
 - 会場 市民体育館
 - 対象 市バレーボール協会に登録したチーム
 - 種別 女子9人制
 - 参加料
 - 大会参加料 3000円
 - 協会登録料 5000円
- ※参加料・登録料は代表者会議のときに支払ってください
※参加チームは代表者会議に出席してください

催し

障害者と家族のおしゃべり会

- 障害福祉課(☎27-2753)
- 障害のある家族を持つ人が集まり、日頃の悩みを話し合

(仮称)伊勢崎市暴力団排除条例の骨子(案)パブリックコメント手続

安心安全課(☎27-2706)

本市では、市民・事業者・行政が一丸となって暴力団を排除し、安心して安全に暮らせる社会にするために、「(仮称)伊勢崎市暴力団排除条例」を制定します。皆さんの意見を聞かせてください。

【意見の提出方法】

所定の様式に、住所・氏名・意見とその理由を記入し、直接または封書・ファクス・メ

います。話し合いの中で、今まで気付かなかった喜びを見つけてみませんか。

春蘭展

- 文化観光課(☎27-2758)
- 期日 3月17日(土)・18日(日)
- 時間 午前9時～午後4時
- 会場 北公民館
- 問い合わせ 伊勢崎市蘭恵愛好会(☎240902・吉沢)

市母子会親子ふれあい交流事業

- 児童家庭課(☎27-2798)
- 期日 5月20日(日)
- 時間 午前6時40分市役所集合・出発
- ※午後10時帰着予定
- 対象 市内に在住の母子・父子家庭の親子
- 定員 200人(抽選)
- 参加料
 - 母親・父親 5000円
 - 市母子会員でない人は7000円
 - 中学生・高校生 3500円
 - 小学生以下 2500円
- ※バス代・入場料・保険料を

ールで安心安全課に提出してください。

- ※資料・所定の様式は、安心安全課および市民情報コーナー(市役所・各支所)にあります。市のホームページからダウンロードもできます
- 期間 3月12日(月)から4月11日(水)まで(必着)
- 対象 次のいずれかに該当する人
 - 市内に在住または在勤・在学の人
 - 市内に事務所・事業所を持つ個人・法人・団体
 - 本市に納税義務がある人

本市に在住の外国人の皆さんへ

特別永住者証明書・在留カードの事前交付申請を受け付けます

7月9日(月)から新しい在留管理制度が始まります。この制度の対象者には、「特別永住者証明書」または「在留カード」が交付されます。現在の外国人登録証明書は7月9日以降も一定期間、特別永住者証明書または在留カードとみなされますので、すぐに変更する必要はありません。希望者は事前に交付申請をすることができます。詳しくは問い合わせてください。

- 特別永住者証明書(特別永住者)
 - 申請期間 7月6日(金)まで
 - 申請場所 市民課
 - 用意する物 旅券(所持していない人は不要)、外国人登録証明書、顔写真(7月9日時点で16歳未満の人は不要)
 - 問い合わせ 市民課(☎27-2729)
- 在留カード(中長期在留者)
 - 申請期間 7月6日(金)まで
 - 申請場所 地方入国管理局
 - 問い合わせ 市民課(☎27-2729)または東京入国管理局高崎出張所(☎027-328-1154)

お知らせ

傍聴しゅごじウチ

- 教育委員会定例会
- 教育委員会総務課(☎27-2785)
- 期日 3月19日(月)
- 時間 午前10時開始
- 会場 市役所東館5階第4会議室
- 定員 7人(先着順)
- 申し込み 3月19日(月)午前9時30分から9時50分までに直接会場へ

宛先 〒372-8501 (住所不要) 市役所安心安全課、☎26123、anshinanzen@city.isesaki.lg.jp

公共下水道 供用開始区域の縦覧

3月31日(土)から、公共下水道を利用できる区域が広がります。対象区域を示した地図を縦覧に供します。

期間 3月16日(金)から30日(金)まで

※土・日・祝日は除きます

会場 下水道整備課

対象区域 鹿島町、昭和町、下植木町、今泉町一丁目、粕川町、茂呂町二丁目、茂呂南町、新栄町、連取元町、連取町、葦塚町、山王町、中町、西久保町三丁目、市場町一丁目、堀下町、田部井町一丁目、田部井町二丁目、国定町二丁目、上田町、境東、境、境米岡、境栄および境平塚のそれぞれ一部の区域

宝くじの助成金を地域の活動に役立てました

市町村振興宝くじを財源とする「いきいき地域づくり支援事業」を利用して、市内11町内で環境対策事業や安心安全まちづくり事業などの地域の活動に役立てました。地域の交流のさらなる発展が期待されます。



地域の環境は地域の手で守ろう

伊勢崎オート

売上金は機械工業の振興・社会福祉の増進などに広く役立てられています

- ◆【場外発売】川口市営第11回2節(川口)
3/12・13・14・15
- ◆【場外発売】特別GIプレミアムカップオートレース(飯塚)
3/16・17・18・19・20
- ◆第34回トーキー杯争奪戦
3/21・22・23
- ◆【場外発売】GI開設60周年記念グランプリレース(川口)
3/24・25・26・27・28



講座

ベビーマッサージ

境児童館どんぐり
(☎2415)

期日 3月15日(木)
時間 午前10時30分～11時30分
会場 境児童館どんぐり
対象 市内に在住の1歳未満の子どものとその保護者
定員 10組(抽選)
※以前受講した人は除きます
内容 ベビーオイルを使って

公民館

南公民館(☎268333)

春の生け花教室

期日 3月16日(金)
時間 午前10時～正午
会場 南公民館
対象 市内に在住の人
定員 15人(先着順)
内容 春の花を水盤に生けます
参加料 1100円(材料費)
申し込み 3月8日(木)午前9時から参加料を添えて南公民館へ

広告のページ

地域ふくし館うえはす 4月から新しい事業を開始します

地域福祉館うえはすでは、障害者自立支援法に基づく自立訓練(生活訓練)と就労継続支援B型の障害福祉サービスを新たに開始します。この施設は、4月から社会福祉法人伊勢崎市愛のはぐるま会が指定管理者として管理・運営を行います。

- 自立訓練(生活訓練)
知的障害のある人が、自立した日常生活を送るために必要な訓練や相談、助言などの支援を通所により行います。働くことへの道筋をつくるお手伝いをします。
 - 就労継続支援B型
一般企業などでの就労が困難な障害のある人に対して、働く場を提供します。社会の中で働くことで、就労に対して生きがいを持てるようお手伝いをします。
- 問い合わせ 障害福祉課(☎27-2753)

障害者(児)相談・生活支援センター(地域福祉館うえはす内) 3月19日(月) 境地域福祉センター内に移転します

【移転先】
所在地 境上武士972番地1 境地域福祉センター内
電話番号 74-5040
ファクス番号 74-5020
問い合わせ 障害福祉課(☎27-2753)



赤ちゃんをマッサージします

参加料 無料
申し込み 3月8日(木)午前10時から11時までに直接境児童館どんぐりへ
ファミリー・サポート・センター(☎2751)
期日 3月22日(木)
時間 午後1時～3時
会場 三郷公民館
対象 市内に在住または在勤の人

子どもの褒め方・叱り方を学びます

参加料 無料
申し込み 3月15日(木)までにファミリー・サポート・センター(曲輪町、☎236471)へ
期日 4月11日から8月29日までの水曜日と4月23日・5月28日・6月25日・7月30日

手話奉仕員養成講座

入門講座
障害福祉課(☎2753)
期日 4月11日から8月29日までの水曜日と4月23日・5月28日・6月25日・7月30日

の月曜日(全23回)
※5月2日・8月15日は除きます
時間 午後7時～8時30分
会場 ふくしプラザ
対象 市内に在住または在勤・在学の18歳以上で、手話に興味があり、全日程に参加できる人(手話の初心者)
定員 20人(先着順)
参加料 1200円(テキスト代)
申し込み 3月8日(木)から30日(金)までに障害福祉課へ